

近縁な植物の比較

サクラタデ・シロバナサクラタデ

小林 浩 二

サクラタデ (たで科) [写真1]

生育地・生育型：日当りのよい水辺に生える多年生草本。

茎・葉：根茎を地下にのぼしてふえる。茎は直立し上部で枝を出す。葉は短い葉柄があって葉身はやや厚く先はとがり、へりの両側に短毛があり、托葉鞘は短く筒形で縁に長い剛毛がある。

花・果実：雄花は淡紅色で長いおしべと短いめしべがあり花柱は3個に分かれる。そう果(果実)はがくに包まれ3稜のある卵形。花期は10月。

ノート：雌株は採取できなかった。雌雄異株であるが雄株もまばらに結実する。二型花?。花の色が淡紅色でサクラの花のようなのでサクラタデと呼び、花は大きい。

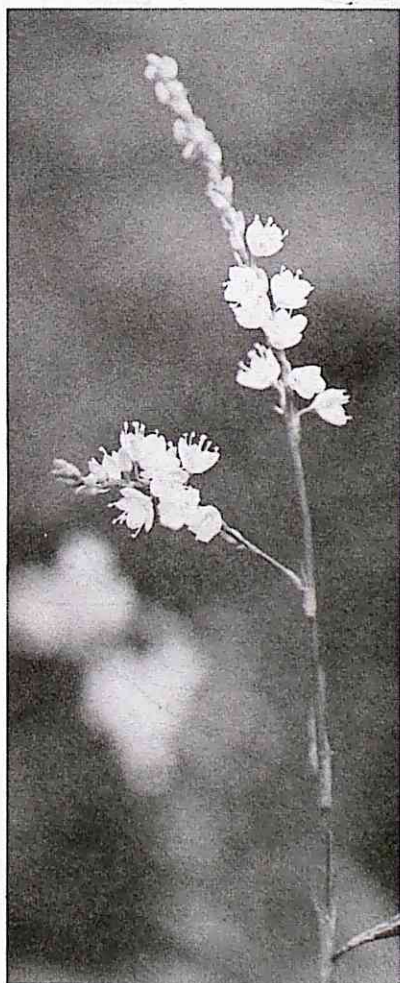
シロバナサクラタデ (たで科) [写真2]

生育地・生育型：湿地などに生える多年生草本。

茎・葉：地下茎は長く地中をほう。茎は直立し枝分かれはしない、さや状托葉はあらい毛があって縁には長い毛が生えている。葉は短い柄があって中脈の上とへりには毛があり先はとがる。

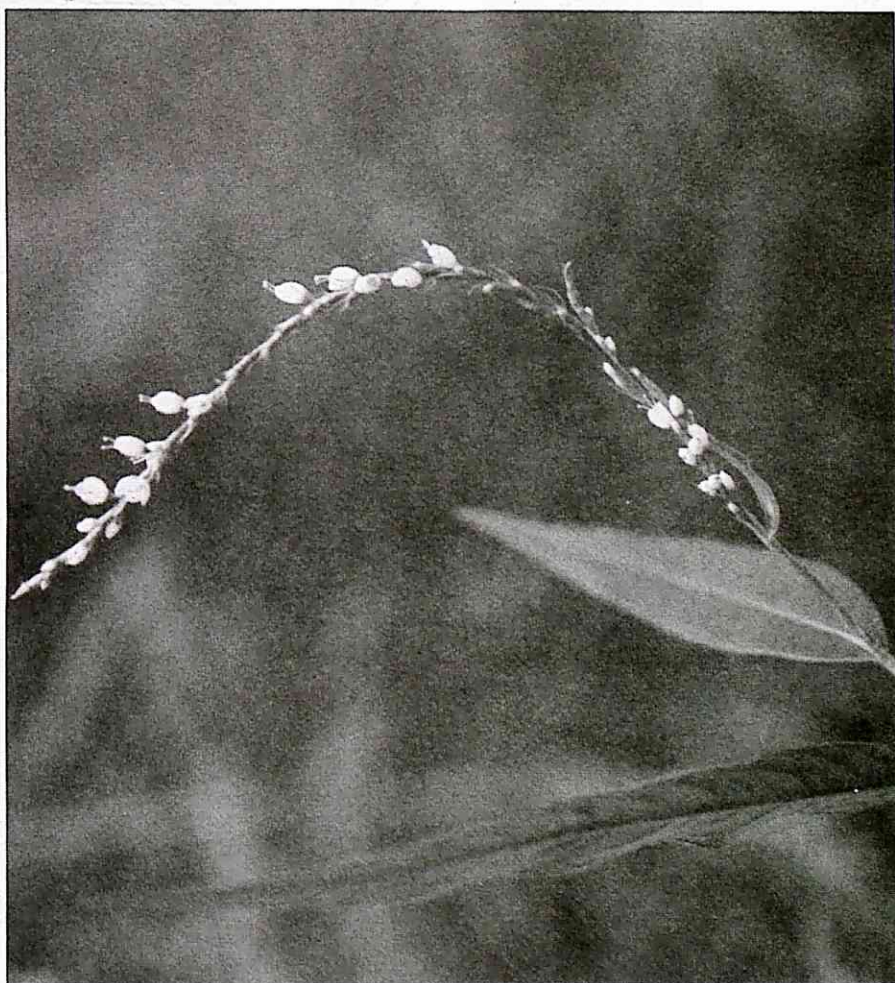
花・果実：8～9月に枝先に数本の長い白色の花序をつける、株によりおしべが長く、花柱の短いものがある。そう果(果実)はレンズ形で光沢がある。

ノート：花は白色で小形平開しない。



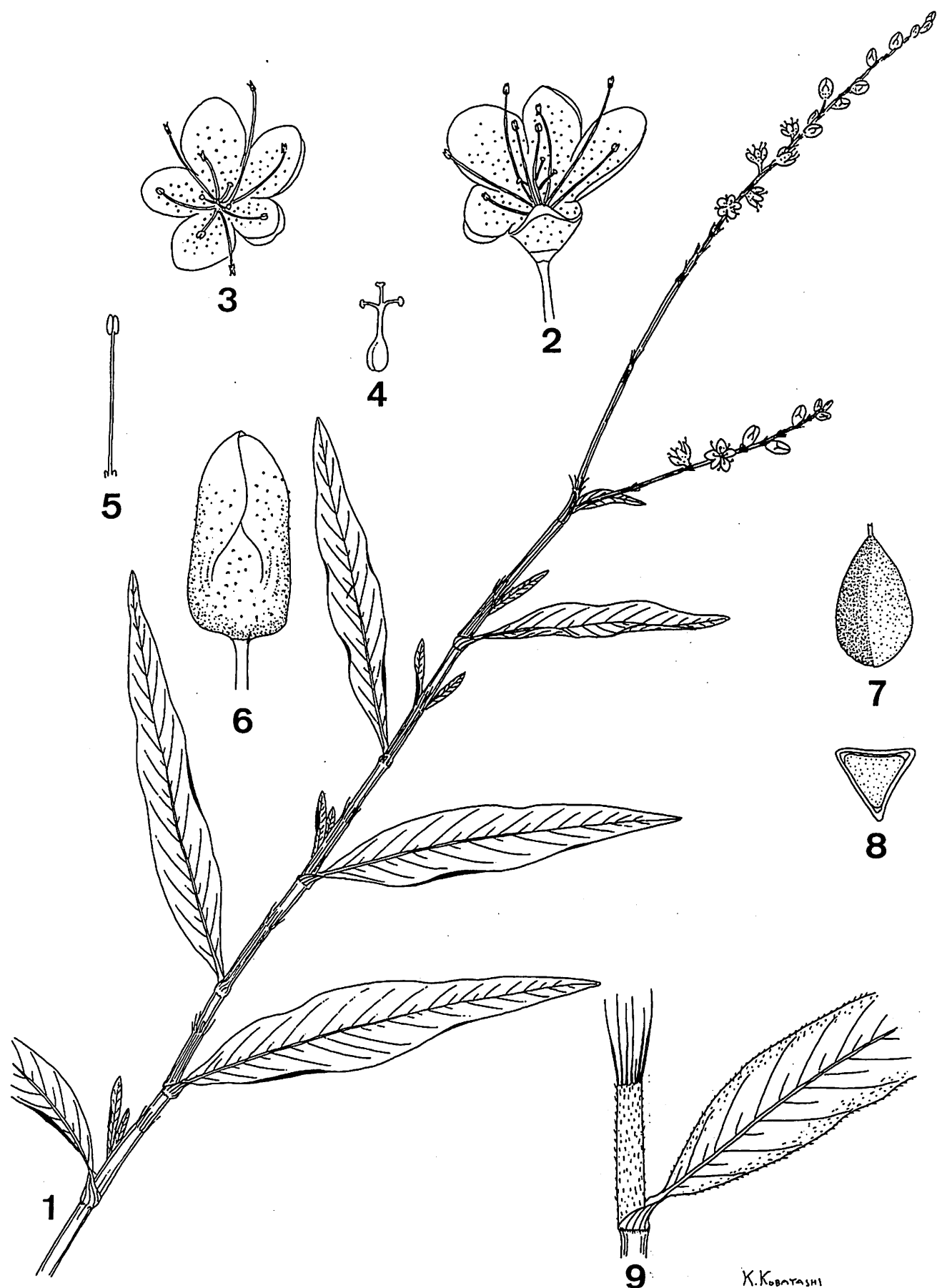
[写真1] サクラタデ

新潟市内野町休耕田(1990. 10. 10)



[写真2] シロバナサクラタデ

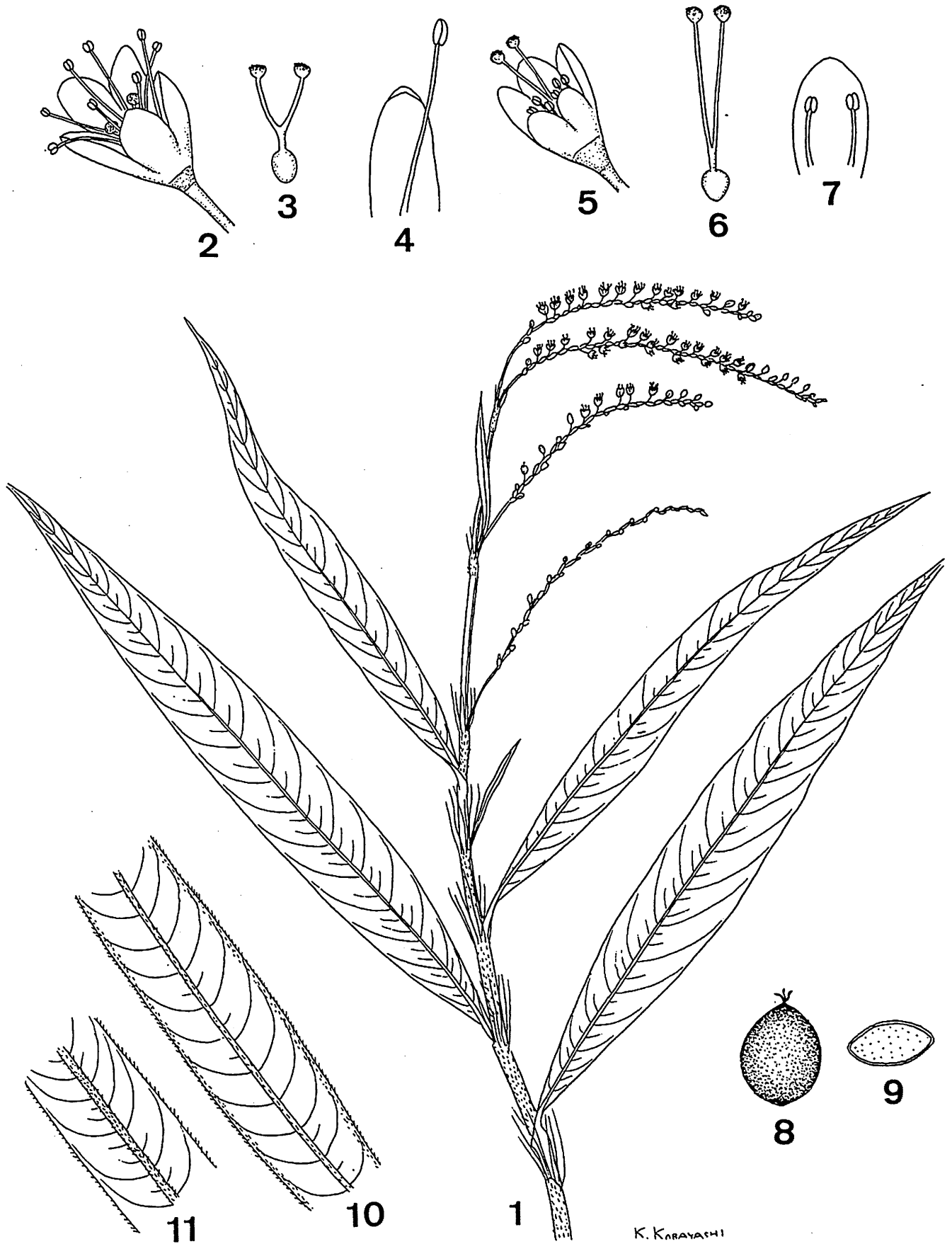
佐渡郡羽茂町素浜(1982. 9. 15)



サクラタデ

1. 全形×0.9 2, 3. おぼな×5 4. めしべ×6.5 5. おしべ×7.5 6. 果実を包む花被×5 7. 果実とその横断面×8 9. さや状托葉と葉×2.5

採集地:新潟市内野町休耕田(1992年10月28日)



シロバナサクラタデ

1. 全形×0.8 2. おばな×7 3. おばなのめしべ×12 4. おばなのおしべ×11 5. めばな×7 6. めばなのめしべ×9 7. めばなのおしべ×12 8, 9. 果実とその横断面×8 10. 葉の表面×1 11. 葉の裏面×1

採集地：新潟市河渡ジュンサイ池(1993年8月31日)